

10月17日(土)
14:25-17:30

会場 工学部新1号館1F (N121教室)	日本地域学会 第35回(1998年)年次大会シンポジウム 社会資本整備の効果予測について 座長: 河野博忠(常磐大学) 河上省吾(名古屋大学)
14:30-15:00	<p>開催主旨: 社会資本整備においては、費用便益分析によってその投資効果を明らかにし、公共事業の効率性、透明性、客観性の向上を図り、合理的な計画、実施手続に基づいて施設整備を進める必要がある。そのために、社会資本整備の事業効果と施設効果と費用を関連事項を総合的に考慮して的確に推定する必要がある。便益と費用の内容を環境影響や人間の心理的影響などを含めて詳細に検討し、施設効果を的確に推定するため、開発あるいは誘発需要の予測法の開発や採用する検討期間や社会的割引率のあり方などについて検討する必要がある。本シンポジウムでは、高速道路と国際空港の費用便益分析を例にとって、そのあり方について検討する。</p> <p>基調報告 東海北陸自動車道の整備効果 報告者: 上田孝行(岐阜大学助教授)</p>
15:00-15:30	<p>中部新国際空港の整備効果 報告者: 上用敏弘((株)中部国際空港建設部次長)</p>
15:30-15:35	<i>recess</i>
15:35-16:50	<p>パネルディスカッション パネリスト 木村吉男(中京大学) 宮城俊彦(岐阜大学) 信国真載(名古屋市立大学) 林良嗣(名古屋大学)</p>
16:50-17:20	一般討論
17:20-17:30	まとめ